

外国人技能実習生受入れの優良事例（自動車関係）

企業概要

受入れ企業名	いすゞ自動車株式会社
創業・創立	1916・1937年4月
従業員数	連結：36,224人 単独：8,149人（2021年3月末現在）
主要製品	大・中・小型トラック、バス、 自動車用・産業用ディーゼルエンジン
事業所	東京本社、藤沢工場（神奈川県）、栃木工場（栃木県）
受入れ先	藤沢工場、栃木工場
配属先	組み立て（60%）、機械加工（20%）、塗装（20%）

活用実績

- 1998年 技能実習生単独型（タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、中国）の活用を開始。※当時は研修生
- 2018年5月 インドネシア人技能実習生の活用を開始（団体監理、1年職種）
- 2019年9月 インドネシア人技能実習生の活用を開始（団体監理、3年職種）
- 2020年10月 コロナウィルスの影響で帰国困難となった、他企業のインドネシア人技能実習満了者を特定技能として活用開始。
- 2021年11月 コロナウィルスの影響で実習中断となった、他企業のベトナム人技能実習生の活用開始。

外国人実習生/労働者層活用数

1998～2022年まで 総計**2,500**名を受入れ
（タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア、ベトナム、中国）

取組事例

1. 日本語教育の強化

日本語能力検定N4レベルを目標に教育。宿舎で週2回の勉強会を実施。

2. 失踪対策

近隣の警察と連携し、犯罪、失踪などの防止のための講話。定期的な面談の実施。

3. 宗教面への配慮

工場内食堂にてハラル食品の提供、イスラム用のお祈り部屋の設置を検討。

4. 再就職支援

実習満了に伴い帰国後、母国での再就職を支援するためにいすゞ現地法人へ満了者の紹介。再就職のためにかかる費用を支援をするため、帰国後に再就職支援金を支給。

5. 多言語体制

工場内に通訳室を設置し、多言語の通訳者が常駐。ポケトークも活用し社員とのコミュニケーションを図る。

6. 地域住民との交流

地引網体験やBBQの開催。工場では近隣の住民も参加可能な夏祭りが毎年開催され、住民との交流を図る。